

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475301071	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	株式会社 ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家 川崎久地			
所在地	(〒213-0032)			
	神奈川県川崎市高津区久地2丁目12番22号			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年2月1日	評価結果 市町村受理日	平成23年4月19日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの理念である「昨日、今日、明日を考え、笑顔でより楽しい毎日を！」に基づき、ご入居者様の昨日(過去)を十分に把握し、今日(現在)の援助にいかし、明日(未来)につなげ、一人ひとりの思いを尊重し寄り添い、ご入居者様中心のホーム運営を目指し日々の援助に努めております。又、ご入居者様のご要望を汲み取り実現させる事を職員の喜びと考え日々援助に努めております。今年のご入居者様からのご要望で、神社への初詣、多摩川花火大会(多摩川河川敷で見学)、浅草バス旅行などを実施し大変楽しんで頂きました。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年2月24日	評価機関 評価決定日	平成23年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<事業所の優れている点>
 ◇わかりやすいホーム理念と結びついた日々のサービス
 「昨日、今日、明日を考え、笑顔でより楽しい毎日を！」という理念を“昨日できたことは今日も、また明日もやってもらおう！”の考えで展開している。食事の盛り付け、配・下膳やお菓子作りなどのほか、屋外に土盛りした作業現場を作った作業など生活歴から引き出した役割作りをしている。ホーム名をつけた久地リンピック競技に参加や表彰で“できること”の動機付けも続けている。
 ◇昔馴染みの場所や思いと取り込んだ外出
 少ない職員で対応できる小人数で2日に1回は外出をしている。梅林、桜並木、コンビニ、スーパーのほか、希望を入れて甘味処、蕎麦屋、さらに昔通った銭湯や競馬場にも職員と出かけたたり、浅草バス旅行にも行っている。
 ◇近隣の人たちとの多彩なつながり
 住宅地の中にあり、ホーム行事へ地域の人に参加したり、消防訓練に町内会役員が10人も加わったり、祭神輿、子供会、小学生、ボランティアなどで来訪が年間150人も来訪している。入居者も町のプランターへ花を植えに行ったりして交流している。
 <事業所が工夫している点>
 ◇入浴日を思い出してもらおう貼紙
 居室にその人の入浴曜日を書いた温泉マーク付の貼紙がある。入浴日には思い出して予定してもらおうようにしている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	GHみんなの家川崎久地
ユニット名	1Fフロア

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフルーム内の目に付く場所に掲示し随時理念を意識して働くよう努めている。また、申し送りごとに理念を唱和し実践につながるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・会社理念とホーム理念「昨日、今日、明日を考え、笑顔で楽しい毎日を」を事務室に掲げ申し送りで唱和している ・職員は入居者に昨日まで出来たことは今日もやってもらうよう意識して行動している。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	子供会、社会福祉協議会からのボランティア等の交流がある。また、地域のいこいの家の卓球、カラオケに参加し交流を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針に地域との結びつき重視を掲げている。 ・ホーム行事、消防訓練、子供会、ボランティア、祭神輿などで地域から年間約150人の来訪がある。また、地域のいこいの家に出かけ、カラオケ交流なども行っている。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の方との合同の行事等を通して認知症のご入居者様とふれあう機会をつくり、理解を深めてもらえるよう努めている。また、グループホームの役割等を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回開催し、町内会長、民生委員、婦人部長、地域包括支援センター、ご家族様に参加して頂き、ホームの状況を伝えている。また、意見、要望をいただきサービスの向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、町内会、民生委員、樹の丘地域包括支援センターが参加し、2カ月に1回開催している。 ・活動報告、消火栓の位置や看護師による各種予防対策など実践的な討議を行っている。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	問題が生じた場合など市町村担当者に連絡し対応していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・3カ月に1回高津区保護課からケースワーカーが来るほか電話で現況報告などを行っている。 ・高津区社会福祉協議会から腹話術や歌のボランティアも受入れ、交流している。 	

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について更なる理解を深めるため、法人内の勉強会等に率先して参加している。また、ホーム内の勉強会を行い身体拘束に対する理解を徹底している。	・マニュアルがあり、身体拘束廃止委員会を毎月開催して勉強している。 ・日常はチェックリストで拘束有無を確認し「ちょっと待って」など行動制限になる言葉を禁句としている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアル等を使用し勉強会を行い意識を高めている。また、法人内の勉強会等に参加し知識を高めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会、研修にて学ぶ機会を持っている。利用したい入居者様には対応できる体制を整えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	各契約時、十分な時間を掛け説明を行う。疑問、不安については随時受け付け理解、納得して頂けるまで時間を掛け対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様来訪時に率先してコミュニケーションをとりその中からご意見、ご要望を伺っている。また、家族会、意見箱、外部機関などのシステムを作り是正に努めている。	・2カ月に1回家族会を開いて意見を聞くほか、不参加の家族には手紙や電話で聞いている。 ・運営関連の意見は少ないが、自転車置き場の改善意見などはすぐ実行している。	

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議、個人面談などで意見や提案を汲み取り運営に反映させている。また、随時、職員に声掛けをし情報収集に努めている。	・年6回「職員が声を出せる密な対話」をモットーに、ホーム長と職員が個別に話合える場を設けている。 ・レクリエーションの種類を増やしたい、外出先の拡大などを討議し、実行している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課を行っている。その中で職員の個々の努力、実績、勤務状況を平等に評価し、各自が目標、向上心をもって働けるよう対応している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修機関にて役職、経験年数に応じた研修を実施しスキルの向上に努めている。また、外部の研修にも率先して参加するよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の施設とはエリア会議や交換研修にて交流はあるが他法人との交流はできていない。今後、交流を深めて行く予定。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、入居時、入居後など随時ご本人様、ご家族様の意見、要望に耳を傾ける環境を作っている。また、普段の様子から望む物を把握し提供するように努めている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前のヒアリング時に時間を掛け要望等に耳を傾けるよう努めている。また、こちらからこまめに連絡を取るなどし、信頼関係を気づき相談しやすい環境づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様の望む支援を聞き出し、他のサービスを含め必要な支援かを検討し提供できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯、掃除など可能なものは一緒に行ってもらい、共に暮らしていく環境づくりに努めている。また、イベント等を行い利用者様同士が交流を持てる機会を多く持っているよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の様子等をこまめに電話や手紙にてお伝えし情報の共有に努めている。また、面会時にはコミュニケーションをとる時間をできる限り持ち、共に支えていく関係の意識づけに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	イベントなどで馴染みの場所に行く機会を多く作るよう努めている。また、馴染みの人、場所の話をするなど途切れないよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・その人の持っている情報から銭湯や競馬場まで外出先に取り入れて出かけている。 ・女性には人気のバラ園、甘味処などの外出先がある。 ・運営規程でも、夫々独自の生活歴尊重を掲げている。 	

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	イベントなどを通じて入居者様同士の交流と相互理解を深め支えあえる関係が築けるよう努めている。また、御利用者様同士の関係性を把握し支えあえる環境づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご入居者様のご家族様からの相談、支援を受け入れる体制を作っている。また、ホームからお手紙などを出し関係を断ち切らないよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の希望、意向に耳を傾け、自己決定を第一に考え努めている。又、カンファレンス、ご家族様との相談を行い、ご入居者様の希望、意向に添えるよう努めている。	・日常は、その人の好みの話題から入って聞いている。 ・話さない人には故郷の名前などから話しかけている ・聞き出した内容はフロア会議やカンファレンスで共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に御本人様、ご家族様より生活歴などの情報を収集しホームでの生活に反映するよう努めている。また、入居後もコミュニケーションの中から情報を収集し反映するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日2回のバイタル測定、食事量、水分量等のチェック等を行い日々の健康管理に努めている。また、日々の生活から情報を収集し状態の把握に努めている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の視点でケアのあり方を考え、ご本人様、ご家族様の要望、意見を取り入れ介護計画を作成している。また、職員はカンファレンス、モニタリングを行いより良い介護計画を作れるよう努めている。	・ホーム長、計画作成者、担当と当日出勤職員でカンファレンス、モニタリングを行っている。 ・サービス実行記録表に満足度評価欄があり、モニタリング前に家族が記入している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録、申し送りにて情報を伝達し共有している。そこから気づいた問題点はカンファレンスを行い介護計画へ反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれたニーズに対し迅速かつ柔軟に対応しご本人様、ご家族様が満足していただけるよう努めている。また、ニーズが生まれる前から定期的カンファレンスを行い、より良い環境づくりに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご入居者様が安全で豊かな暮らしを提供できるよう町内会、子供会などと交流を深めている。また、社会福祉協議会から地域の情報を頂き支援に生かしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診を行っている。また、救急時などは24時間対応できるよう体制を整えている。	・個人負担の軽減も考えて、全員協力医をかかりつけ医としている。 ・月2回の内科、歯科往診のほか毎週歯科衛生士、看護師の訪問がある。 ・通院介助は家族対応である。	

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日々の生活の中で気づいた状態変化などを医療連携看護師に伝え相談し、適切な看護を受けられるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人様、ご家族様に不安、負担をかけないよう、医療機関にホームでの生活状況、支援状況を細かく伝えるよう努めている。また、入院時に面会を行いご入居者様の状態の把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した際の対応を時間を掛けて説明している。又、ご入居者様、ご家族様の意思を尊重し状態の変化に応じた対応に努めている。	・重度化対応指針で本人、家族と希望を話し合い、必要なサービスを提供するとしてある。 ・看取り介護マニュアルで看取りと看取り介護の違いまで定義し、看取り実績もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員が急変時に迅速に対応できるよう救急時マニュアルを設置している。また、外部の応急訓練に参加し実践力を身につけるよう努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルを整備し周知徹底に努めている。また、地域とともに防災訓練を行うなどし協力体制を築けるよう努めている。	・防災マニュアルと防災チェックリストがある。 ・夜間想定訓練では災害発生を午前2時、地域の人の役割は屋外での誘導とその後の見守り、職員の消火栓の使用訓練まで具体的に決めている。	・地域の協力もあり具体的な対応訓練が行われています。 ・非常持出し袋も用意されていますが、内容や持出し担当者、さらには非常時備蓄品などを再点検してみることも必要と考えます。

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重しご入居者様に合った言葉かけ、対応を行うよう努めている。また、職員は勉強会、研修を行い意識向上に努めている。	・プライバシー保護マニュアルをテキストにして、心構え、接遇マナーの研修を行っている。 ・トイレという直接的な言葉を使わず、入口につけた花飾りで呼ぶ配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを取る機会を多く作り、その中から、思い、希望を汲み取り自己決定につながるよう努めている。また、日々の生活の様子から汲み取れるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様のペースに合わせることを第1に考え対応している。また、コミュニケーションをとる機会を増やし、その中から要望を汲み取り実現するよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様の希望する洋服や髪型などに対応できるよう支援をしている。また、化粧をするなどの機会を作りおしゃれを楽しんでいただけるよう努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、配膳、下膳などご入居者様といっしょに行い、共に楽しい食事の時間を作っている。また、好みに合わせた外食、出前の機会をつくり楽しんでいただいている。	・盛り付け・配膳・下膳、「今日のメニュー」書きなどを手伝ってもらっている。 ・希望により献立を変更したり、月1回は寿司、天丼などの出前や蕎麦、和食、ファミレスの外食を行っている。	

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録し状態の把握に努めている。また、記録や状態を医療機関につなげ食事形態を変更するなど努めている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご入居者様の状態に合わせた声掛け、介助にて支援を行い口腔内の衛生保持に努めている。また、週1回の歯科訪問の支援を受けている。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご入居者様の排泄能力、排泄パターンを把握し声掛け、援助を行い排泄の自立に努めている。	・おむつをしない取り組みで日中の使用者は皆無である。 ・失敗した場合も、職員の方から謝り、自信をなくさないように配慮している。 ・職員は自立は自分たちの対応次第で変わると考えている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、水分補給などを行っていただき自然排便が出るよう努めている。便秘時は往診医に連絡を取り指示を仰ぎ対応する。また、日々の排便状況から便秘の原因を探るよう努めている。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴を行いご入居者様の入りたいタイミングにあわせて入浴できるよう努めている。また、入浴剤を使うなどして楽しんでいただく環境づくりに努めている。	・本人の要望で土日でもいつでも入浴することができる。 ・入浴を拒む人には日常的な会話から雰囲気を作り誘導している。 ・柚子湯・菖蒲湯など季節を感じさせる工夫をしている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	記録、申し送りにて状況を把握しその時々合わせた休息や眠りにつけるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師より薬の受け渡し時に用法、副作用などの情報をもらい把握に努めている。また、薬剤説明書を確認し薬の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活のなかで一人ひとりが役割を持っていただけるよう努めている。また、イベントを多く取り入れ、楽しみを持って生活出来るよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご入居者様の体調に合わせ散歩など外に出る機会を多く取り入れている。又、ご家族様に協力して頂き、買い物や外食などの機会も多く取り入れている。	・今月の目標は「外出を増やそう」となっている。 ・少人数単位で回数を多くを念頭に2日に1度は散歩やお買物の外出をしている。 ・初詣・多摩川の花火大会、浅草バス旅行なども実施した。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は施設で行っている。お金を持っていないと不安を感じてしまうご入居者様にはご家族様と相談し小額を持って頂いている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望を尊重し電話の取次ぎ、手紙のやり取りの支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様のご希望に答え、音楽や映画のDVDを流している。また、壁に季節に合わせた飾り付けを行っている。光度や室温は随時ご利用者様の目線で調整を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルや椅子と椅子の配置には、車椅子のすれ違いにも十分な空間が確保してある ・職員は「のんびりすることも大切に」を心がけている。 ・ラックに漫画・競馬・料理本もありゆったりと寛げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングは、やや照明を落とし、落ち着いた環境作りに配慮されています。空調では温度計が入居者より高い位置にあります。運動量の多い職員の感じと入居者の快適温度の再確認が望まれます。
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに気の合った利用者同士が過ごせるようソファを設置している。また、外にもベンチを置き外の空気を吸いながら過ごすことができる場所を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様、ご家族様と相談し、馴染みの家具や生活用品を持ち込み居心地の良い環境作りを心掛けている。また、壁に写真を貼るなどし居室を親しみやすい空間にしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入口の花の名札で自分の部屋が分かるようにしてある ・持ち込み品は自己管理できれば特に制限せず、入居者の思い出や癒しを尊重している ・仏壇や職員の寄せ書き、表彰状などが飾られている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様の状態に合わせ、危険を回避できるように、動きを補助できるように家具の設置や除去等の環境整備に努めている。また、共有部分に名前や飾りを付け自立できるよう支援している。		

事業所名	GHみんなの家川崎久地
ユニット名	2Fフロア

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフルーム内の目に付く場所に掲示し随時理念を意識して働くよう努めている。又、申し送りごとに理念を唱和し実践につながるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	子供会、社会福祉協議会からのボランティア等の交流がある。又、地域のいきいこの家の卓球、カラオケに参加し交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の方との合同の行事等を通して認知症のご入居者様とふれあう機会をつくり、理解を深めてもらえるよう努めている。又、グループホームの役割等を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1回開催し、町内会長、民生員、婦人部長、地域包括支援センター、ご家族様に参加して頂き、ホームの状況を伝えている。又、意見、要望をいただきサービスの向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	問題が生じた場合など市町村担当者に連絡し対応していただいている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について更なる理解を深める為、法人内の勉強会等に率先して参加している。又、ホーム内の勉強会を行い身体拘束に対する理解を徹底している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアル等を使用し勉強会を行い意識を高めている。又、法人内の勉強会等に参加し知識を高めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会、研修にて学ぶ機会を持っている。利用したい入居者様には対応できる体制を整えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	各契約時、十分な時間を掛け説明を行う。疑問、不安については随時受け付け理解、納得して頂けるまで時間を掛け対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様来訪時に率先してコミュニケーションをとりその中からご意見、ご要望を伺っている。又、家族会、意見箱、外部機関などのシステムを作り是正に努めている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議、個人面談などで意見や提案を汲み取り運営に反映させている。又、随時、職員に声掛けをし情報収集に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課を行っている。その中で職員の個々の努力、実績、勤務状況を平等に評価し、各自が目標、向上心をもって働けるよう対応している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修機関にて役職、経験年数に応じた研修を実施しスキルの向上に努めている。又、外部の研修にも率先して参加するよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の施設とはエリア会議や交換研修にて交流はあるが他法人との交流はできていない。今後、交流を深めて行く予定。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、入居時、入居後など随時ご本人様、ご家族様の意見、要望に耳を傾ける環境を作っている。又、普段の様子から望む物を把握し提供するよう努めている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前のヒアリング時に時間を掛け要望等に耳を傾けるよう努めている。又、こちらからこまめに連絡を取るなどし、信頼関係を気づき相談しやすい環境づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様の望む支援を聞き出し、他のサービスを含め必要な支援かを共検討し提供できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯、掃除など可能なものは一緒に行ってもらい、共に暮らしていく環境づくりに努めている。又、イベント等を行い利用者様同士が交流を持てる機会を多く持っているよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の様子等をこまめに電話や手紙にてお伝えし情報の共有に努めている。又、面会時にはコミュニケーションをとる時間を出きる限り持ち、共に支えていく関係の意識づけに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	イベントなどで馴染みの場所に行く機会を多く作るよう努めている。又、馴染みの人、場所の話をするなどし途切れないよう努めている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おやつや食事の時間など、ご入居者様同士が関わりあえるよう職員が間に入り孤立を感じないように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご入居者様のご家族様からの相談、支援を受け入れる体制を作っている。又、ホームからお手紙などを出し関係を断ち切らないよう努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の希望、意向に耳を傾け、自己決定を第一に考え努めている。又、カンファレンス、ご家族様との相談を行い、ご入居者様の希望、意向に添えるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に御本人様、ご家族様より生活歴などの情報を収集しホームでの生活に反映するよう努めている。又、入居後もコミュニケーションの中から情報を収集し反映するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日2回のバイタル測定、食事量、水分量等のチェック等を行い日々の健康管理に努めている。又、日々の生活から情報を収集し状態の把握に努めている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の視点でケアのあり方を考え、ご本人様、ご家族様の要望、意見を取り入れ介護計画を作成している。又、職員はカンファレンス、モニタリングを行いより良い介護計画を作れるよう努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録、申し送りにて情報を伝達し共有している。そこから気づいた問題点はカンファレンスを行い介護計画へ反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々にも生まれたニーズに対し迅速かつ柔軟に対応しご本人様、ご家族様が満足していただけるよう努めている。又、ニーズが生まれる前から定期的にカンファレンスを行い、より良い環境づくりに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご入居者様が安全で豊かな暮らしを提供できるよう町内会、子供会などと交流を深めている。又、社会福祉協議会から地域の情報を頂き支援に生かしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診を行っている。又、救急時などは24時間対応できるよう体制を整えている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日々の生活の中で気づいた状態変化などを医療連携看護師に伝え相談し、適切な看護を受けられるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人様、ご家族様に不安、負担をかけないよう、医療機関にホームでの生活状況、支援状況を細かく伝えるよう努めている。又、入院時に面会を行いご入居者様の状態の把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した際の対応を時間を掛けて説明している。又、ご入居者様、ご家族様の意思を尊重し状態の変化に応じた対応に努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員が急変時に迅速に対応できるように救急時マニュアルを設置している。又、外部の応急訓練に参加し実践力を身につけるよう努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルを設置し周知徹底に努めている。又、地域とともに防災訓練を行うなどし協力体制を築けるよう努めている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重しご入居者様に合った言葉かけ、対応を行うよう努めている。又、職員は勉強会、研修を行い意識向上に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを取る機会を多く作り、その中から、思い、希望を汲み取り自己決定につながるよう努めている。又、日々の生活の様子から汲み取れるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様のペースに合わせることを第1に考え対応している。又、コミュニケーションをとる機会を増やし、その中から要望を汲み取り実現するよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	女性のご入居者様は化粧をし、男性のご入居者様はスーツを着て外出するなどおしゃれを楽しんでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、配膳、下膳などご入居者様といっしょに行い、共に楽しい食事の時間を作っている。又、好みに合わせた外食、出前の機会をつくり楽しんでいただいている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録し状態の把握に努めている。又、記録や状態を医療機関につなげ食事形態を変更するなど努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力にて行えるご入居者様には声掛け確認を行い、自力にて行うことが難しいご入居者様は行えないところのみ介助にて行う。又、週1回の歯科支援を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご入居者様の排泄能力、排泄パターンを把握し声掛け、援助を行い排泄の自立に努めている。又、オムツのご入居者様も日中はトイレ誘導をするなど自立に向けての支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、水分補給などを行っていただき自然排便ができるよう努めている。便秘時は往診医に連絡を取り指示を仰ぎ対応する。又、日々の排便状況から便秘の原因を探るよう努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴を行いご入居者様の入りたいタイミングにあわせて入浴できるよう努めている。又、季節に合わせて菖蒲やゆずなどをいれ入浴を楽しんでいる。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	記録、申し送りにて状況を把握しその時々合わせた休息や眠りにつけるよう努めている。又、夜間眠れずに起きてきたご入居者様にはお話しを傾聴し安心を与え入眠につなげている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師より薬の受け渡し時に用法、副作用などの情報をもらい把握に努めている。又、薬剤説明書を確認し薬の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活のなかで一人ひとりが役割を持っていただけるよう努めている。又、仲が良いご入居者様数人で外出するなど楽しんでいただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご入居者様の体調に合わせて散歩など外に出る機会を多く取り入れている。又、ご家族様に協力して頂き、買い物や外食などの機会も多く取り入れている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は施設で行っている。お金を持っていないと不安を感じてしまうご入居者様にはご家族様と相談し小額を持って頂いている。		

みんなの家川崎久地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望を尊重し電話の取次ぎ、手紙のやり取りの支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様のご希望に答え、音楽や映画のDVDを流している。又、壁に季節に合わせた飾り付けを行っている。光度や室温は随時ご利用者様の目線で調整を行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに気の合った利用者同士が過ごせるようソファを設置している。又、スタッフルームにて職員と過ごすなど自由な空間作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様、ご家族様と相談し、馴染みの家具や生活用品を持ち込み居心地の良い環境作りを心掛けている。又、歩行時の障害になるものは位置を変え安全を確保できるよう努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様の状態に合わせ、危険を回避できるように、動きを補助できるように家具の設置や除去等の環境整備に努めている。又、共有部分に名前や飾りを付け自立できるように支援している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 みんなの家川崎久地

作成日 平成23年4月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者様の立場に立った室温の調整。	入居者様の過ごしやすい環境を作る。	入居者様の座っている位地と足元の温度を測り、体感している温度を把握する。そこから入居者様の快適温度を見つけ対応する。	3ヶ月
2		非常持ち出し袋の中身、非常時備蓄品の不足。	非常持ち出し袋の中身、非常時備蓄品の充実。	本当に必要な物、量をを選別し購入する。又、定期的に管理し把握に努める。	3ヶ月
3		災害時における迅速な行動のための役割の徹底。	災害時に自分の行うべき役割を理解し迅速に対応できる。	災害を想定した避難訓練を定期的に行い、自分の役割を理解する。又、どのようにすればさらに迅速に行えるのかを日々話し合う。	半年
4					
5					